

[要点]

1991年、バブル経済が崩壊し、株価や地価が下落して深刻な不況の時代に入った。銀行などの金融機関は不動産取引などに多額の融資をおこなっていたが、バブル経済の崩壊により、融資は回収不能な不良債権となった。

[A問題：要点確認]

1991年、()経済が崩壊し、()価や()価が下落して深刻な不況の時代に入った。銀行などの金融機関は不動産取引などに多額の融資をおこなっていたが、()経済の崩壊により、融資は回収不能な()債権となった。

[B問題]

- (1) 1980年代後半から90年代はじめにかけて、地価や株価が異常な値上がりをしたが、このころの経済を何というか。
- (2) 1991年、いわゆる(A)経済が崩壊し、株価や(B)が下落して深刻な不況の時代に入った。
- (3) バブル経済期、銀行などの金融機関は不動産取引などに多額の融資をおこなったが、バブル経済の崩壊により、融資は回収不能な()となった。

[解答]

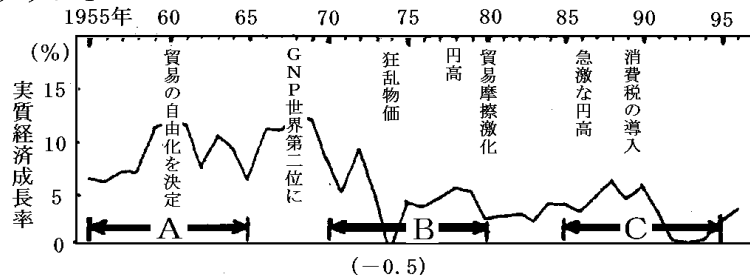
- (1) バブル経済 (2) A バブル B 地価 (3) 不良債権

[C問題]

グラフ 中の、A、B、C、の時期に起こった出来事を、つぎのア～ウから1つずつ選び記号で書け。

ア：バブル経済の崩壊 イ：石油危機の発生 ウ：高度経済成長の始まり

グラフ I



[解答]

- A ウ B イ C ア